

平成30年度「NPO共生・協働・かごしま推進事業」実施結果

(事業名) We Do! 私たち一人ひとりが大切にされる, みんなでつくるみんなのための地域コミュニティづくりパイロット事業

実施主体

(団体名) コミュニティメンターネットワーク 幹事: 特定非営利活動法人Lかごしま
(担当課名) かごしま県民交流センター男女共同参画推進課



We Do!
 私たち一人ひとりが大切にされる みんなでつくるみんなのための地域コミュニティづくりパイロット事業に取り組んでいます!

なぜ?

日々の暮らしのなかで、気になる方々の状況

- 身体的な不自由を抱えている
- 精神や発達に特性がある
- 子育てや介護などで、時間や気持ちにゆとりがない
- 生活困窮の状態にある

地域で暮らす私たちにできることはないだろうか?

身体の不自由さや心に不安を抱えていたり、時間や気持ちなどにゆとりがない方々は健康で、暮らしにゆとりのある方々より地域活動に参加しにくい状況があります。

目的!

様々な人々の参加・参画による暮らしやすい地域

様々な理由から、地域活動などに参加しづらい状況の方々が参加しやすい地域づくりに取り組むことによって

背景

少子高齢化, 人口減少などにより, 地域課題の多様化, 複雑化から住民一人ひとりが抱える生活上の課題や困難がより複合化している。

社会的孤立の状態にある人, 生活困窮の状態にある人等が抱える「見ようとしなければ見えない」困難が潜在している。

このような複合的な生活上の困難や課題の解決に向けて, 住民一人ひとりの生活基盤である地域コミュニティにおける「住民自治」としての取り組みが求められている。

地域課題

現在, 多くの地域コミュニティは・・・

活動の中核となる人材の固定化, 特定の人々を対象とした行事消化型の活動により
 →多様な住民の参加が得られていない現状。

→複合的な生活上の困難や課題の解決に向けた多様性・包摂生への対応が困難。

人権・男女共同参画意識, 多様な住民参加, 自治意識の向上は, 地域コミュニティづくりの基盤的課題である。

事業のねらい

男女共同参画の視点に立った地域コミュニティづくりを推進する。

具体的には、本事業で養成するコミュニティメンターを活用して、地域の一人ひとりが抱える困難さの解消につながるよう働きかけも行い、それらの取組から一人ひとりの出番と居場所ができること、さらに住民の自治意識の向上につながることを目指す。

※コミュニティメンターとは、地域コミュニティづくりの知見を有し、人権・男女共同参画のマインドを持ち、コミュニティにおける、特に困難な状況が想定される一人ひとりの心に寄り添い、コミュニティと関わりを創出する人

事業概要

- 1 地域コミュニティにおける多様性を理解するための講演会の開催（薩摩川内市, 43名参加）
本事業の趣旨や内容等について説明をするとともに地域コミュニティにおける多様性を理解するための講演を実施
- 2 コミュニティメンター養成講座の実施（薩摩川内市, 全4回実施, 延べ75名参加）
地域コミュニティにおいて、「一人ひとりの人権の尊重」意識の醸成, 多様な人々への偏見をなくし, 共生への理解を図るために必要な人材育成講座等を実施
- 3 みんなでつくる, みんなの居場所づくり事業「つつんカフェ」の開催
（薩摩川内市平佐西地区など, 出張版を含め計9回, 延べ184名参加）
コミュニティセンター等を活用し, 年齢, 性別などを問わない誰もが集い, 語らえる場を設置
- 4 ～私たち一人ひとりが大切にされる地域コミュニティ～
みんなのフェスティバルの開催（薩摩川内市, 約80名参加）
地域の中核施設を使用し, 「私たち一人ひとりが大切にされるコミュニティ」を体験するため, みんなの出番と居場所があるイベントを開催
- 5 その他
定例会, 情報誌発行などの情報発信など



成果

- 1 本事業の中核となる「コミュニティメンター養成講座」は、一定の人権及び男女共同参画に関する知見とマインドを有し本事業に協働する個人を直接的対象者としたため、当初の目的にかなうコミュニティメンターを養成することができた。
- 2 1において養成したコミュニティメンターに対し、H29年度に始良市において養成したコミュニティメンターとの交流会や居場所づくり事業「つつんカフェ」など、さらに理解を深める実践的な学習の機会を提供することができた。
- 3 今後さらに社会的要請が高まる地域コミュニティづくりについて、コミュニティ・プラットフォームとしての地域コミュニティの組織性と機能性に関する概念、地域コミュニティづくりの基本的方向についての関心と理解の浸透が図られた。
- 4 1～3の事業の目的を集約して実施した「みんなのフェスティバル」では、次の点において本事業の目的に対する事業実施の効果性と今後の展開に向けた可能性を示した。
 - (1) 「多様性を理解するワークショップ」の効果に「一人ひとりの人権の尊重」についての実際理解が共有され、本事業が目指す「一人ひとりが大切にされ 誰もが出番と居場所のある地域コミュニティづくり」への潜在する需要を掘り起こすことができた。
 - (2) 「コミュニティづくりを語る会」において、薩摩川内市チャレンジ委員会より、地域生活者の自発的かつ主体的なコミュニティ活動がコミュニティに暮らす一人ひとりを支える核になることが語られた。



協働の状況

- オフィス・ピュア／事業アドバイス、講座等講師
- 薩摩川内市ひとみらい政策課／運営、会場手配、広報等
- 薩摩川内市男女共同参画地域推進員/事業企画、運営、広報等
- 薩摩川内市チャレンジ委員会/事業企画、運営、広報等
- 平佐西地区コミュニティ協議会/広報への協力、会場提供、事業への参加等
- 尾賀自治会/広報への協力、会場提供、事業への参加等
- 隈之城地区コミュニティ協議会/広報への協力、会場提供、事業への参加等
- FMさつませんたい／広報への協力
- かがしま県民交流センター男女共同参画推進課／事業企画、運営、広報等
- 始良市男女共同参画課/広報への協力、会場提供、事業への参加等
- 松原なぎさ校区コミュニティ協議会／事業への参加等
- ひまわりハウスサポーター／事業への協力、参加等
- 松原地区公民館／会場提供
- 鹿児島県男女共同参画地域推進員／事業への参加、広報への協力
- コミュニティメンターネットワーク「ひだまり」／広報への協力、会場提供、事業への参加等
- コミュニティメンターネットワーク/事業企画、運営、広報、事務手続き等
- 特定非営利活動法人Lかがしま／運営、広報等

今後の取組

- ・ 本事業のテーマである「地域で身近に男女共同参画を進める」ことと、地域コミュニティづくりの不可分性を踏まえ、地域コミュニティづくりにおける「男女共同参画の視点」による課題性をより明確に提起し、実施事業に反映する。
- ・ 今回の事業で養成したコミュニティメンターの活動が継続的に行われることにより、ソーシャルワークのありかたについて等、引き続き実践的学習の深化を図る。
- ・ コミュニティメンターネットワークを拠点とするコミュニティメンター事業の県内各地への波及を図る。
- ・ 人権・男女共同参画・コミュニティづくりに関する「一人ひとりに身近な共同学習」の場が「出番と居場所」づくりの拠点となりえることから、地域コミュニティにおける生涯学習、公民館講座等との協働の方向に関する検討を行う。



協働事業の感想

団体からの声

地域の小さな集いの場が地域の小さな課題の解決に大きなチカラを発揮すると感じた事業でした。小さな集いの小さなチカラが共感をよび、社会を動かすチカラになることを願います。

担当課からの声

「男女共同参画の視点」というと難しく思われるかも知れませんが、今回の事業は、地域に潜在している「見ようとしなければ見えない」問題や課題解決に向けて自治と共助による地域コミュニティづくりをするにはどうすればいいかという課題に取り組みました。今回の取組が少しずつ理解され、広がっていくことを期待します。